

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービスアニマートさのなみき				公表日	令和8年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		バリアフリー化が十分でない箇所については、安全面に配慮しながら職員が補助を行うなど工夫して対応しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			感染症の広がりが見られる時期には、換気、消毒を意識を高めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちを落ち着かせるためなどに、活動部屋とは別の部屋が使用できるよう環境を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回、保護者様アンケートを実施し、改善に努めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的なミーティングやスタッフ会議を実施。共有・協議した内容については、業務改善や支援の質の向上に繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部研修や法人内研修の機会を確保している。受講後は内容を共有し、職員全体の資質向上に努めております。	虐待防止研修を始め、職員研修（新人研修）を計画的に行っていく予定です。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		看護師も参加のうえアセスメントを実施し、医療面の視点も踏まえてニーズや課題を整理し、計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		支援記録、リズムなどを活用し、子どもの生活・社会性・情緒の適応行動を多面的に把握し支援計画に反映しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って必要な項目や支援内容を設定しております。	今後も保護者様や利用者様とのコミュニケーションを密にとり、必要な支援やその具体的な内容を設定できるよう努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもたちが主体的に取り組める活動や季節感・イベントを考え、毎月の活動会議で話し合いながら作成しております。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			ミーティングの時間に限らず、職員間で随時振り返りや気付いた点の共有ができる環境を整えております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			支援後に記録をつけ、振り返りを行っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			子どもたちが主体的に取り組めるよう、保護者と連携して興味・関心を共有し、意欲につなげる支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5			個々のコミュニケーション方法に配慮したり、小さなサインにも気付けるよう、職員間での情報共有も大切にしております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			相談支援事業所より情報を提供して頂く他、必要に応じ関連機関との連携を図ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			相談支援員を通じて適切に情報提供・連携を行っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			現在卒業生はおりませんが、今後は学校卒業に伴う移行時に、支援内容等の情報提供を行い円滑な引き継ぎを行う予定です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			同法人の市内事業所と合同でイベント等を実施し、地域の子どもたちと活動する機会を設けております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			少人数の事業所運営を活かし、保護者と日頃から連携を密にして、発達状況や課題の共通理解に努めております。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			今後も関連機関と連携し、保護者の方が具体的にサポートできる方法を安心して学べる機会を提供していきたいと考えております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			保護者の方が気軽に相談できる雰囲気づくりに努めております。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		きょうだい児交流につきましては、イベント等の参加を通して提供できるように検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		契約時に苦情受け入れ体制について説明を行っています。苦情があればすぐに管理者へ報告を行い対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個人情報の使用や開示について細心の注意を払い厳重に対応してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の発達や障がい特性に合わせて、絵、文字、時計など工夫して行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		イベントの際に、地域ボランティアの方々をお招きしました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			マニュアルの周知・説明を保護者様に分かりやすく行っていけるよう工夫してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		水害・火災・地震の避難訓練を年4回行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		情報を全職員で共有し、症状の変化にも迅速に対応できるよう、保護者様、学校との連携を図っております。	研修、ロールプレイング等で、緊急時の対応についても全職員で対応できるようにしてまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			今後も必要な研修等に参加するなど、安全管理を徹底してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			今後も、お便り等で保護者様にも周知いただけるようより分かりやすく発信してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット集を作成し、回覧、再発防止等の話し合い等で情報共有を行い日々対応しております。	引き続き、ヒヤリハット事例を共有し、事故防止、再発防止に努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を中心に研修会の参加や伝達研修による周知、また、各事業所でも年数回の研修を行い意識を高めております。	今後も、虐待防止・権利擁護についての読み合わせや事例検討を定期的に行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		虐待防止委員会を中心に研修会の参加や伝達研修による周知を行っております。	必要に応じ保護者様と面談を行い、必要に応じて同意を頂き個別支援計画書に反映させていただきます。	